

法人（事業所）理念		すべての人がお互いを認め合いながら成長できることを願い、すべての人がその人らしく生きていくことに努力をします。（すべての人とは、子ども、保護者、かかわる人）					
支援方針		保護者の方とお子さん自身のご意向を大切に、お子さん自身が生活しやすくなるよう支援します。発達のお子さん、支援を必要としているお子さんに対して、保護者の方からの聞き取り、お子さんの観察、客観的スケールを用いてお子さんの困り感を探り、一人ひとりに適切なアプローチを試みます。身近な物を使って、小さな目標の達成を積み重ね、お子さんの「できる」を大切にしていきます。※はくはくは「こども基本法」の子ども施策の基本理念に基づいた支援、施設の運営に取り組みます。					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり
サービス利用時間		10時	0分	11時	40分	※園の活動や給食の時間に合わせたご利用時間の調整も可能です。	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>【健康状態の維持・改善／生活習慣や生活リズムの形成／基本的な生活スキルの獲得 の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所時の一人ひとりの挨拶の場面や健康観察などから健康状態の把握を行います。 ・汗をかいた時にタオルで汗を拭く、着替える、またケガをしたときに、大人に痛いところを見せたり、絆創膏を貼ったり、患部を冷やすなど、健康を維持するために必要なスキルを身につけます。 ・1日の流れや支度など、やること分かるように一人ひとりに合わせた方法（イラストや写真、文字の提示等）で伝えます。見通しを持つことで安心して過ごせるようにします。 ・やることに集中して取り組むことができるよう、視覚や音の刺激の整理を行う等、お子さん一人一人に合わせた環境を整えます。 ・基本的な生活スキルでは、自分の力でできることが増えるようスモールステップで取り組みます。「できた！」経験を積み重ね、身辺自立の向上をめざします。（排泄）トイレトレーニング、トイレトーパーの使い方や排泄後の拭き方などを練習します。 ・（着替え）衣服の着脱、前後の確認等、分かりやすく伝え、繰り返し取り組むことで着替えのスキルを身につけます。 ・（食事）食具（スプーン、フォーク、お箸）の使い方、器の持ち方や抑え方、手が汚れたときにおしぼりで拭くなどの練習をします。 					
	運動・感覚	<p>【姿勢と運動・動作の基本的な技能の向上／姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用／身体の移動能力の向上／保有する感覚の活用／感覚の補助及び代行手段の活用／感覚の特性への対応 の支援】</p> <p>日常生活や集団（こども園や保育園等）生活で活かせるよう、身体や手先の様々な使い方を体験します。</p> <p>〈運動あそび〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まねっこ遊び、バランスボール、橋渡り、マット運動等を通して、姿勢を変化・保持（身体バランス）する力、またボディイメージの力を育みます。 ・トンネルくぐり、四つ這い、歩く、走る、跳ねるなどの運動等を通して、運動の基本動作や移動能力を遊びの中で育みます。 ・持つ、運ぶ、渡す、投げる（ボール遊び）、引く（綱引き）、回す（縄跳び）などの運動を通して、物を扱いつながりながら身体を動かす力を育みます。 ・運動会の前には、お子さんの状況に合わせて参加意欲が高まるよう、かけっこ練習（合図を待つ、ゴールまで走る等）や、組体操の練習等も取り入れます。 <p>〈手先を使ったあそび〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土、新聞紙等を使用した感触遊び、にぎる、つまむ、ひっぱる、ひねる、ちぎるなどの両手を使う遊び、ひも通し、ボタン遊び、折り紙など手先の巧緻性を育む遊びに取り組みます。 ・クレヨン、はさみ、のり等を使った遊びや制作を通して、道具の使い方を学びます。 ・音楽発表会の前には、お子さんの状況に合わせて参加意欲が高まるよう、楽器（カスタネットや鍵盤楽器等）の練習も取り入れます。 					
	認知・行動	<p>【認知の特性についての理解と対応／対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成）／行動障害への予防及び対応 の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物や絵カード等を用いて、物の名前・色・数・形等の理解を段階的に広げられるように、遊びや課題に取り入れます。 ・物の用途、大小等の概念、時間、感情等、実際の体験と言葉を結びつけながら、抽象的な概念に触れる機会を作ります。 ・パズル、タングラム等、見て、触って、考える遊びを通して、試行錯誤する力を育みます。 ・今やることや予定の変更等、一人ひとりに合わせた方法（イラストや写真、文字の提示等）で伝え、「分かる」ことで自発的に行動する力を育みます。 ・一人ひとりの認知の発達段階に合わせて、意思の表出手段を獲得し、自己選択、自己決定ができるよう支援します 					
	言語・コミュニケーション	<p>【コミュニケーションの基礎的能力の向上／言語の受容と表出／言語の形成と活用／人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得／コミュニケーション手段の選択と活用／状況に応じたコミュニケーション／読み書き能力の向上 の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動を通して多くの言葉に触れます。言葉に合わせてイラストや文字の提示、見本を見せるなど、言葉と意味が一致し、言葉の理解が広がるよう支援します。 ・言葉、指さし、身振り、ジェスチャー、絵カード等のコミュニケーション手段を用いて、やりたいことや困っていること等、自分の気持ちを表出する力を育みます。 ・自分の考えや思いを伝えたり、相手の話を聞く機会を作り、コミュニケーションの基礎となる力を育みます。 ・他者に気持ちや相手に伝わる、認められる経験を積み重ね、コミュニケーションの気持ちよさや自己肯定感を育みます。 ・「こんな時なんて言う？」等、大人と一緒に考え、場面に合った言葉の表現方法を学びます。 ・絵本やひらがな付きイラストカード、文字のマッチング、かるた等、お子さんの好きなキャラクター等も用いながら、一人ひとりの発達段階に合わせて、文字（ひらがな、数字）への興味関心を広げます。 ・なぞり書き、書き順、書き写し等、文字の読み書き能力の向上を目指した課題を取り入れます。 					
	人間関係・社会性	<p>【アタッチメント（愛着）の形成と安定／遊びを通じた社会性の発達／自己の理解と行動の調整／仲間づくりと集団への参加 の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊びややりとり遊びなど、大人や友だちと一緒に過ごし、人と関わる楽しさを感じられる時間を提供します。 ・小集団での活動を通して、順番や交代、指示に沿って行動する、ルールを守る、役割分担をする等、友だちと一緒に遊ぶ基礎を育みます。 ・ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りにいかない時に、自分の感情や考えに気が付き、言葉にする経験を重ねます。また、気持ちを落ち着ける方法を大人と一緒に考え、感情をコントロールする力を育みます。 ・友だちとの関わりを通して、友だちの考えや思いを聞き、相手の気持ちを知る機会を作ります。また、自分の気持ちと相手の気持ちを踏まえてどうするかを考え、行動する力を育みます。 ・送迎時、歩道を歩くときには、手をつないで歩く、自転車がないかを確認するなど、お子さんの発達に合わせた支援を行い、危険の回避や認知する力を育みます。 					
家族支援	心配事や困り事（ご兄弟の心配事・困り事も含む）がある時は、随時相談（面談や電話、必要に応じて家庭訪問等）に応じます。	移行支援	お子さんの姿や対応方法の情報共有をします。必要に応じて園を訪問し、具体的な関わり方や環境整備等の提案や助言を行います。				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援（園・保健・福祉・医療など） ・相談支援事業所との情報共有・担当者会議の参加などの連携 ・浦安市児童発達支援事業連絡協議会の参加 など 		職員員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・市内こども発達センター主催の講演会・研修会への参加 ・全職員、経験年数にごとに外部講演会・研修会への参加 ・法定研修（虐待防止研修・身体拘束等適正化研修、感染症対策研修など）の実施 			
主な行事等	避難訓練（年2回以上）						